

東京の恋人 (1952)

メディア 映画

ジャンル ドラマ コメディ

製作国 日本

色彩 B&W

時間 97分

初公開日 1952/07/15

【解説】

「三等重役」の井手俊郎と「或る夜の接吻」の吉田二三夫によるオリジナル脚本を「泣きぬれた人形」の千葉泰樹が監督した、ユーモアを織り交ぜた人間ドラマ。撮影は「戦国無頼」の飯村正、音楽は「霧笛」の飯田信夫。原節子と三船敏郎が共演を果たした。

ユキは銀座にある宝石店〈宝山堂〉の前で似顔絵を描いて生計を立てていた。同じ裏町に住む正太郎たちは、同じ場所で靴磨きと靴直しをしている。ある日ユキは都電で黒川という男と出会うが、彼は偽宝石作りの名人だった。黒川が偽のダイヤを宝山堂に届けたことから、様々な人物を巻き込んだ騒動になるのだが…。

【クレジット】

監督 千葉泰樹

製作 熊谷久虎

藤本真澄

脚本 井手俊郎

吉田二三夫

撮影 飯村正

美術 北猛夫

浜上兵衛

編集 笠間秀敏

音楽 飯田信夫

助監督 小松幹雄

出演 原節子

ユキ

三船敏郎

Toshiro Mifune

黒川

杉葉子

ハルミ

小泉博

正太郎

増淵一夫

忠吉

井上大助

大助

森繁久彌

赤澤

清川虹子

鶴子夫人

河村黎吉

山本

飯田蝶子

松代

藤原釜足

青山

藤間紫

小夏